



The Kiyota Global Times

「CEFR」を知っていますか？

グローバルコース長
紀伊國 薫

グローバルコースの皆さんに質問です。「CEFR」どのように発音しますか？ 「セファール」と発音します。正式には **Common European Framework of Reference for Languages** のことで、もともとはヨーロッパにおける外国語教育の向上のために、第二言語の使用、教育方針や学習者の達成度など、様々なことについて共通の理解を持とうという目的で開発されたものです。

日本語版の CEFR は大学入試で英語外部検定試験を導入しようとした際に、様々な検定試験の結果をどのように共通化して評価するかということで取り上げられるようになりました。グローバルコースの1・2年生は12月にGTECを受検しますが、これは点数で結果が出てきます。でも点数だけだと、実際のレベルはよくわかりません。しかし、下の表のように英検と比較できると自分の実力がわかるようになります。レベルはC2～A1に分類されており、C2が最高になっています。

各資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省 (平成30年3月)

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 200 (230) (210)	3299 2600 (3299)	1400 1350 (1400)	9.0 8.5				
C1	199 180 (190) (180)	2599 2300 (2599) (2304)	1400 1350 (1400)	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160 (170) (160)	2299 1950 (2299) (1980)	1349 1190 (1280)	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140 (150) (140)	1949 1700 (1949) (1728)	1189 960 (1080)	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120 (120)	1699 1400 (1699) (1456)	959 690 (840)		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100 (100)		689 270 (270)					620 320

→ は各級合格スコア

※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上限と下限

GTECの目標点を設定しましょう！

先程の表によると、概ね英検準2級合格レベルは「A2」、2級合格レベルは「B1」となります。この通信の第2号でも話したとおり、1年生では準2級、2年生で2級を目標とすると、GTECでは1年生では690点以上、2年生では960点以上が一つの目安と言えます。

しかし、実際の大学受験で考えるともう少し上の目標も必要になります。例えば、廊下に掲示している「大学別合格者平均スコア一覧（高3版）」では、北海道大（1010）、小樽商大（980）、北教大札幌校（950）、早稲田大（1070）、青山学院大（1020）、明治大（1010）、北星学園大（860）、北海学園大（860）などとなっています（GTECのウェブサイトでは大学ごとの基準点が検索できます）。既に英検2級を持っている人はさらに上を目指してみてください。

グローバルコース生の実力は！？

実際、先輩たちがどのくらいの実力があつたのかは皆さんも気になるところではないでしょうか。下の表は昨年の12月に受検したGTECのグローバルコース生徒の成績概況で、現2・3年生が当時どのレベルにどのくらい的人数がいたかというものです。

現3年生は1060点以上に1人（先程の基準で言うと早稲田大レベル）、そしてクラスのほとんどがA2レベル以上にいることがわかります。現2年生はクラスの半数以上がA2レベルでした。

1・2年生の皆さんは昨年度の先輩の成績を超えられるように、この1ヵ月しっかりと努力をしてください。今回のGTEC受検日は12月4日（土）です。

■令和2年度 GTEC（12月受検） グローバルコース成績概況

CFER-Jと英語力プロフィール		4技能スコア	現3年	現2年
B1.2	海外進学を視野に入れることができるレベル	1189-1060	1	0
B1.1		1059-960	10	4
A2.2	海外の高校の授業に参加できるレベル	959-810	24	22

国際理解基礎・市内語学研修（English Camp）お疲れさまでした！

学期間休業中の10月1日（金）～2日（土）の2日間、1年次の国際理解基礎（集中講義）で市内語学研修（English Camp）が行われました。今年度は新型コロナ感染者の増加による緊急事態宣言中ということもあり、本校に勤務する英語教員とALT、そして地歴公民科や理科の教員も加わってのEnglish Campとなりました。しかし、そんな逆風もなんのその。生徒の感想からもその充実ぶりが伝わってきました。これからは英語力を磨いて、たくさん話せるようになりましょう！

<参加生徒の感想>

- ・この2日間とても英語のスキルを上達させられたと思った。多くの先生とALT、ずっと英語に触れていたし、ここまで英語を使ったりしていなかったからとても良い経験になった。また、日本語をずっと使えないというのがとてもコミュニケーション力を上げるためのきっかけになって、意識が上がった。
- ・English Campは思っていたよりもあまりにも楽しくとても良い2日間を過ごせたと思います。来年から一緒にいるみんなと少し距離が縮まったと思います。
- ・I realized that it is important to speak English actively. Through talking with a lot of ALT, I was able to learn natural English conversations. I want to use more English in my daily life. I want to thank three ALTs for their kindness.



EnglishCamp 終了後、CALL 教室前で

G 見学旅行、英語での研修もお疲れさまでした！

10月18日（月）～21日（木）の3泊4日でG 見学旅行が行われました。残念ながら今年度も海外への見学旅行は叶わず、国内への変更となりました。しかし国内でも何とか英語を使った研修ができないか模索し、長崎のハウステンボスでは外国人と一緒に園内を回るプログラムや、大分の立命館アジア太平洋大学では外国人留学生とのディスカッションを実現することができました。

最初は緊張した面持ちの生徒達も少しずつ外国人との会話に慣れ、良い交流をすることができたと思います。大学で出会った留学生達も最初はあまり日本語ができなかったと言っていたのですが、やはり毎日の積み重ねで驚くほど上手に日本語を使っていました。たくさんの人々に刺激やパワーをもらい、様々な言語を勉強するモチベーション向上につながったのではないのでしょうか。

<参加生徒の感想>

- ・立命館アジア太平洋大学での交流が思っていた以上にいい経験になった。
- ・外国人と交流できて、英語や他の言語へのモチベーションになった。
- ・クラス全体の一体感を色々な場面で感じられて楽しかったです！これからの学校行事もみんなとできるのがすごく嬉しいです！
- ・この4日間、楽しくとても早く過ぎました。コロナ禍で行けるか心配だった中、こういう機会を作ってくださってありがとうございました。



立命館アジア太平洋大学(APU)での研修終了後、AP タワー前で